

素晴らしきミツバチの世界

養蜂とは、ミツバチの素晴らしきとは。永年蜂を愛し続けてきた
久世佳弘氏が語る、素晴らしきミツバチの世界!!

8の字ダンス

ミツバチたちは発見した餌場（花のたくさんある蜜源）のありかを仲間知らせるために、ちよつと変わった行動をします。

8の字ダンスといわれるこの仕草は、私たち人間の行動でいう会話にあたります。つまり、言葉の代わりにミツバチは、花のありかを見つけると巣に戻ってその場所を仲間に伝えるために「〇」と「8」の形の形に動き回るので。

一般に餌場が近いときには「〇」を描くといわれています。餌場が遠くなるにつれて「8」の字に変わっていき、その回転頻度がどうやら餌場までの距離を表しているようだ、ということも判ってきました。

また一定の距離以上になると方角まで示すよう、「8」の字の軌道の中央を直進するようなスタイルをとりながら、どの方向に餌場があるかを、より正確に伝えようとします。

こうしたミツバチたち独自の文化は、社会性をもった生物として永い期間を経て築かれてき

たものと考えられます。

ミツバチにもある地域性

この「8の字ダンス」も、地域によって異なるようです。

セイヨウミツバチが右回りと左回りを1回ずつ繰り返すのに対して、ニホンミツバチは一方に数回まわった後、ターンするような傾向がみられるといえます。

また、夏の暑い時期には巣内の温度を調整するために、巣の外からの風を送り込むための送風係のミツバチが現われますが、この送風の仕方でもセイヨウミツバチとニホンミツバチでは、頭を向ける方向やお腹の位置などがまったく違います。

私たち人間が気候や風土によって文化、習慣が違つるように、ミツバチの世界でも環境などによつてもつとも効率の良い習性を身に付けてきたのでしよう。

人間とミツバチは、本当に共通項が多い生物だと思えます。



株式会社札幌山本養蜂園社長

久世佳弘

久世佳弘 プロフィール
昭和14年 北海道帯呂町生まれ。
昭和47年 山本養蜂園札幌営業所勤務
平成6年 山本養蜂園として独立
札幌山本養蜂園
TEL 011-873-3838
住所 札幌市白石区北郷2条7丁目6の13
事業内容 ハチミツ関連商品・養蜂器具卸販売